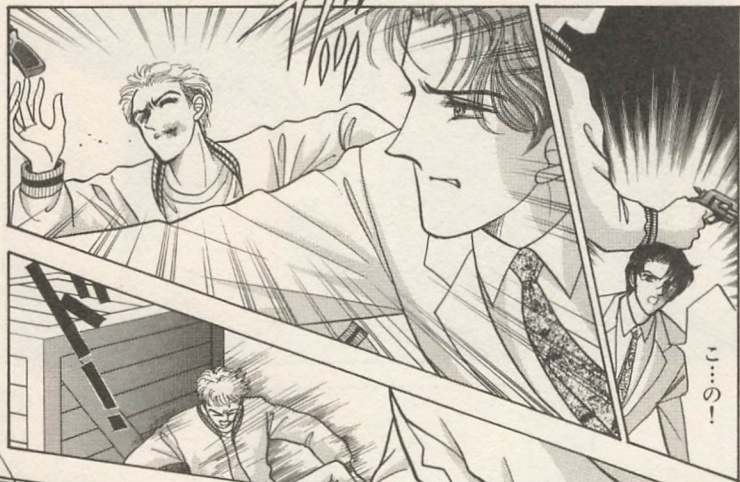




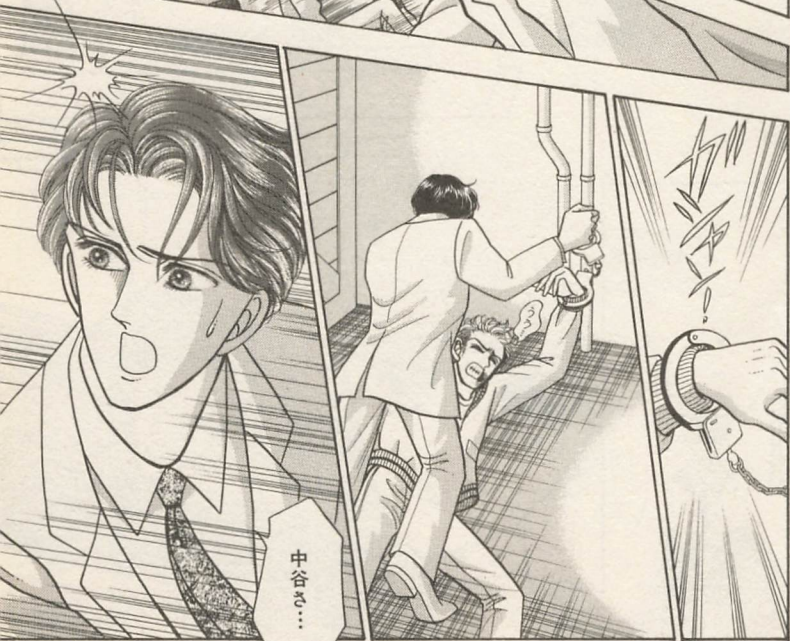
銀の雨音

GIN NO AMAOTO

銀の雨音



こ…の…!



中谷さ…



中谷さん!!



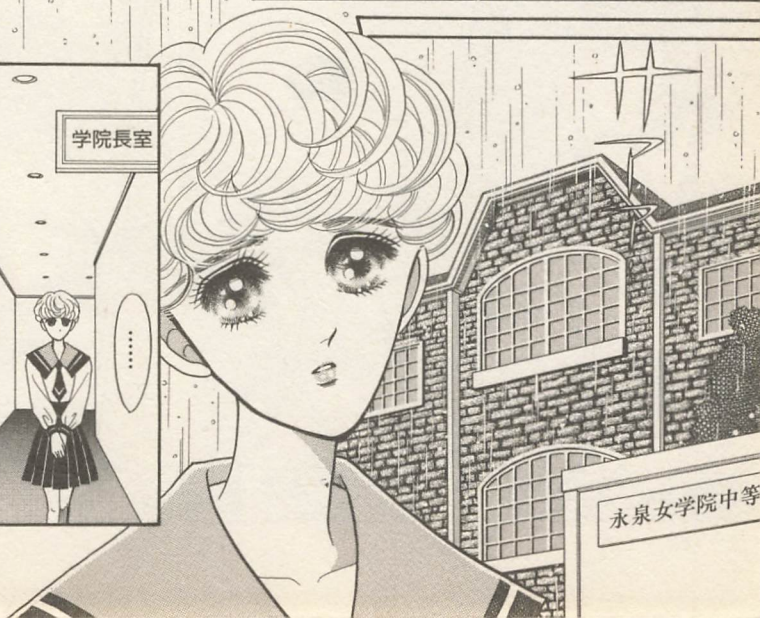
中谷さん...

しっかり
中谷さん!



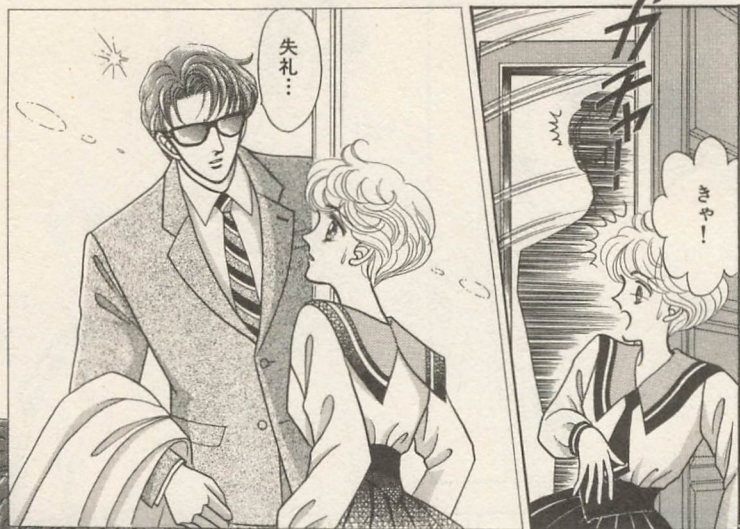
学院長室

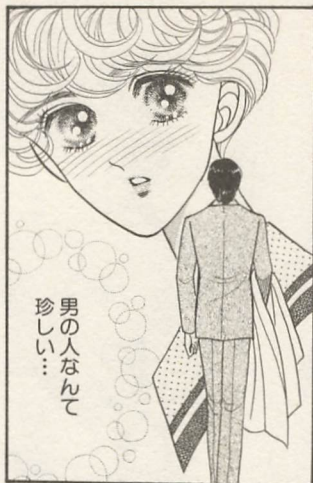
.....



永泉女学院中等

銀の雨音





男の人なんて
珍しい…



あたしも
ひとりですっかり
生きていこうと
思ってます

父は仕事に
誇りを持って
いましたから



このたびは
大変でしたね
中谷さん

殉職なんて
シロクでしたけど
もう大丈夫です

…はい



…ちよつと
カッコよかつた
…かな

失礼します
院長先生

そうでしたね
あなた お母さまも
小さいころに
亡くされて

これで身寄りが
なくなってしまった
わけですから……

わかってます
あと1週間で
中学も卒業だし

寮を出て
働いていこうと
思っています

いえ
それがね

あなたの後見人を
申し出た方がいて
だからあなたは
大学卒業まで
なんの心配も
ありませんよ

いったい
だれが!?

ええっ

大学までの
学費も寮費も
ぜんぶ払ってある!?



なんの根拠も
ないけど
きつと……!



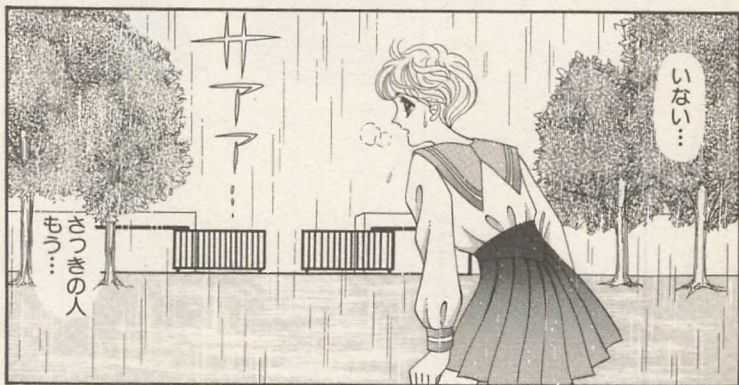
もしや

失礼します!

これはカン

中谷さん!?

だけどきつと
当たってる!



いない……

さつきの人
もう……



どこの
だれなんだろ
……

……でも……

いつかまた
会えますように！



清流建設

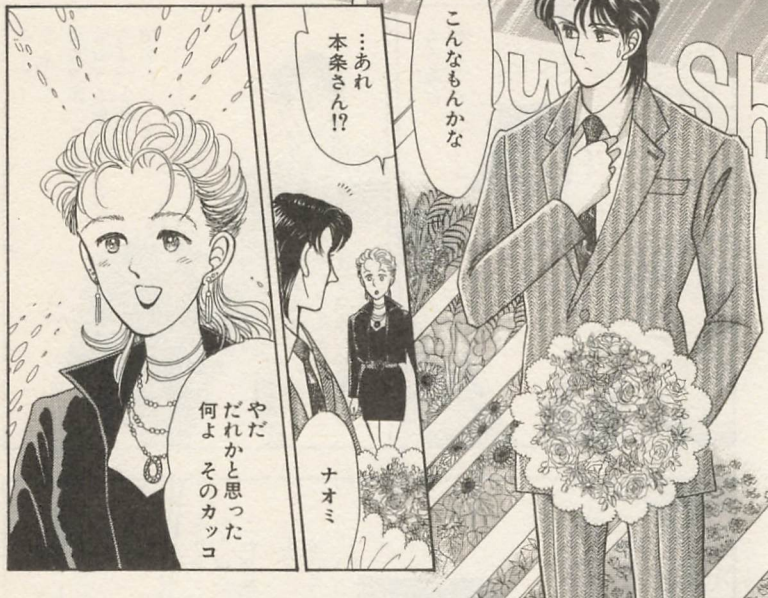
しらばつくれんじや
ねエ!!

ネタは
上がってんだ!





銀の雨音

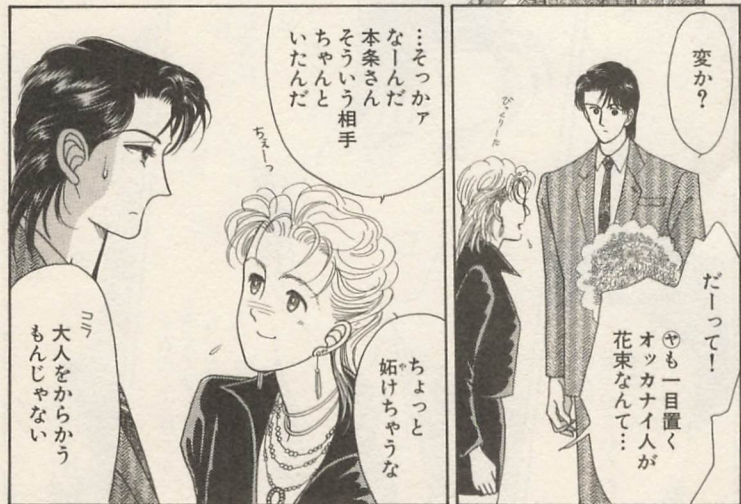


こんなもんな

…あれ
本条さん!?

ナオミ

やだ
だれかと思った
何よ そのカッコ



変か?

…そっかア
なーんだ
本条さん
そういう相手
ちゃん
いたんだ

ちえっ

ちよつと
妬けちゃうな

コヲ
大人をからかう
もんじやない

だーって!
④も一目置く
オツカナイ人が
花束なんて…



そ…だ！
ちようど
清流建設のことで
会おうと思ってたんだ
ちよつと話
聞きかじつてさ

おまえまた
ヤバイことに
首突つ込んでんじや
ないだらな

もう薬は
絶対やめろよ！

わかってるよ
更生できたのも
本条さんのお
おかげだもん

あの関つて
若頭のこと
いい情報
入りそう
なんだ

そりや
ありがたいが
これは俺の仕事だ

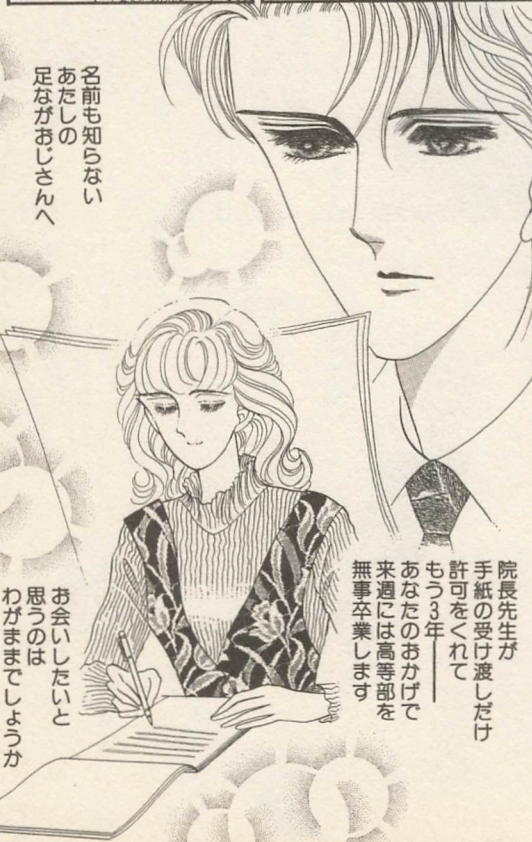
おまえこそ
女の子なんだからな

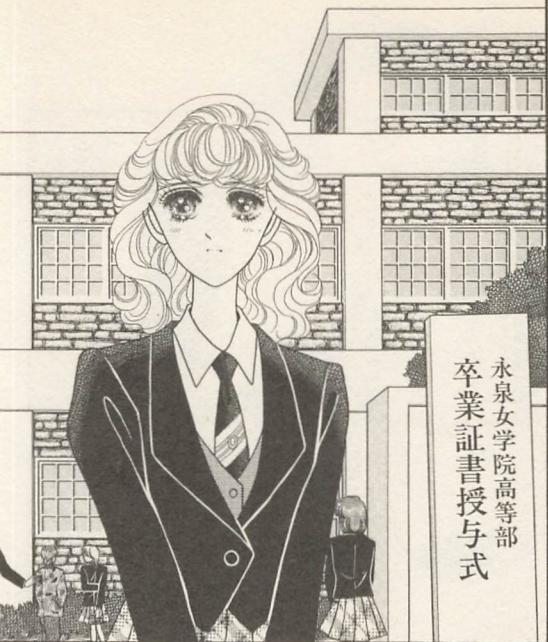
大丈夫さ

そんなことばっか
考えてないで
もつと自分のこと
しつかり考えろよ

アタシに
そんなこと
言ってくれんの
本条さん
だけだよ

銀の雨音





永泉女学院高等部
卒業証書授与式

あたしも もう18
子供じゃありません
どうか卒業式に
来て下さい！
どうしても
会いたいです!!



中谷美紅^{みこう}
一生のお願いです！



じゅん

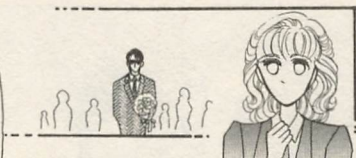


きつと
来てくれる

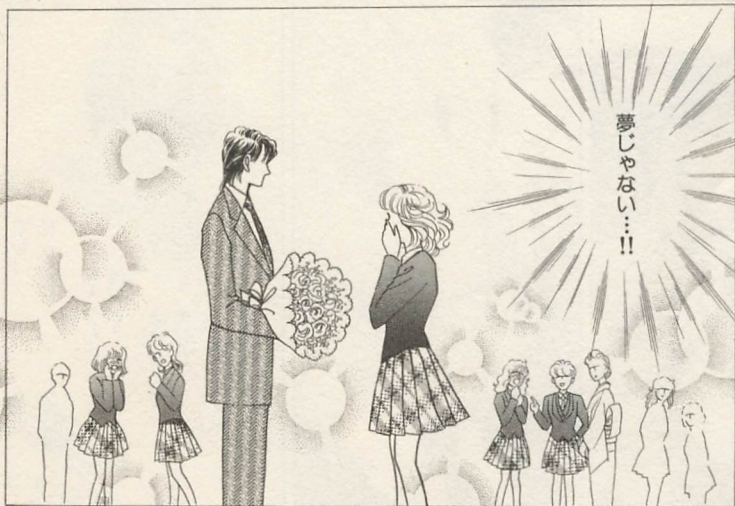
きつと…!



高校卒業
おめでとう



……さ……





殉職でした

父は刑事で
強盗犯を
追っていて

胸を撃たれて
そのまま……



……



あたしは
生きてほしかった



人は父のこと
刑事の鑑^{かん}つて
言うかも
しれないけど

あたしも
刑事の娘として
立派なこと
言っただけ……

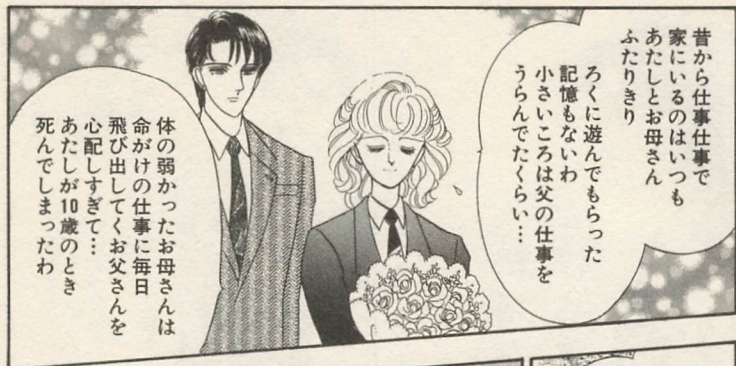
でも
ほんとは

犯人なんて
逃がしてもいい

卑怯^{ひきょう}者^{もの}って
呼ばれてもいい

殉職なんて
カッコイイ言葉
いらなから

銀の雨音



昔から仕事仕事で
家にいるのはいつも
あたしとお母さん
ふたりきり

ろくに遊んでもらった
記憶もないわ
小さいころは父の仕事
をうらんでたくらい…

体の弱かったお母さんは
命がけの仕事に毎日
飛び出してくお父さんを
心配しすぎて…
あたしが10歳のとき
死んでしまったわ



中学から
あたしはずっと
寮に入っちゃったから
それからろくに
お父さんと口をきく
時間もなかったなあ…

…刑事なんて仕事

あたし
ほんとは
大嫌い…!!

あげくのはてに
殉職…



え
ああ…

本条さんのこと
聞いても
いいですか



ごめんなさい

こんなこと
話せる人ずっと
いなかったから
つい…
自分のことばかり

いや…



いつかは
言わなきゃ
ならないんだ

何
言いそびれてんだ
俺は



中谷さんは
俺をかばって
死んだんだと
この娘に…!



俺は…

お父さまの仕事
を継いで実業家
に？
すごいのね！

ははは…

刑事なんて
大嫌い

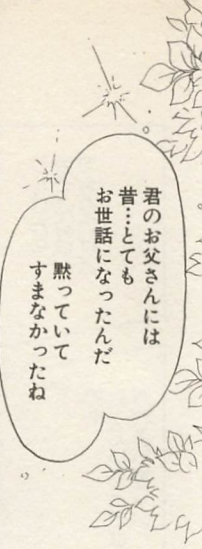


そうだったんですか…



今の俺があるのも
中谷さんのおかげなんだ

だから亡くなったとき
どうしても何か恩返し
がしたくて…



君のお父さんには昔…とてもお世話になったんだ
黙っていてすまなかったね



うれしい！

本条勇一さん

ずっと長い間
思ってた以上に
ステキな人！



あの…これからも時々会ってもらえませんか？



……ああ

かまわないよ
君さえよければ

よかった！

本条さんは
忙しくて

ひんばんに
会うことは
できないけど

でも
会っているときは
だれより優しい

ずっと
ずっと
あこがれてた

出会った
あの雨の日から

あたしは
本条さんが
好き……!

カサ
忘れちゃったア

早く
ドジ!
入れ



美紅？

この気持ち
もう
止まらない



……

……

カサは
1本のほうが
いいもん！



美紅……

あたしのこと
嫌い？
恋愛の対象に
ならない？



好き！

勇一さんが
好きなの





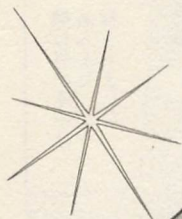
元気が
出るように





捜査第一課





よかった！
 本条さんが
 喜んでくれるのが
 一番うれしいや



情報は
 ありがたいけど
 ナオミ
 危険すぎるぞ
 もうこれ以上
 かかわらんじやない
 いいな！

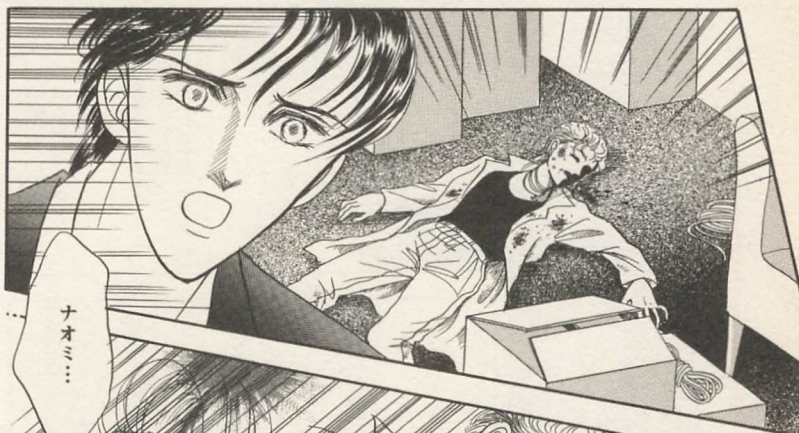


うん
 じゃ
 がんばって

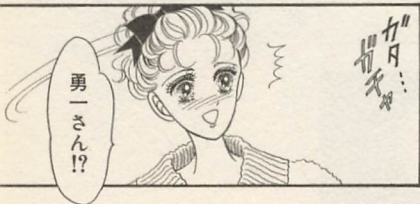
バタン！！



警察だ！
 清流建設
 開けろ！



ナ
ア
ア





あなたのすべてを
受け止めたい...



.....
あなた いったい
何者なの...?
勇一さん

きつと
普通の人じゃ
ないって
ずっと感じてた

でも...



.....
美紅...?



あたしは
あなたが
何者でも
好き...

それだけは
変わらないわ





あの
本条刑事をな!!

呼び出して
ズタズタに
してやらなきゃ
気がすまねェ!



美紅!

今のところな

ここだ
ひとりだろうな
本条

関!

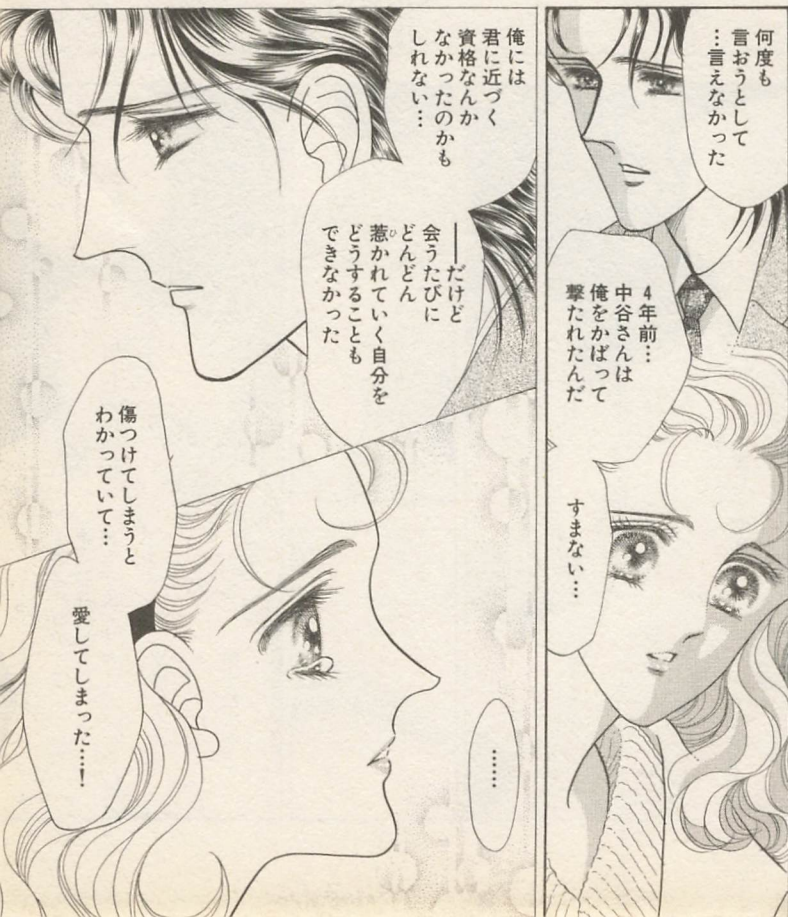
近づくんじゃねェ!
銃が見えるだろう

ああ美紅は
無事だろうな!

どこだ!?

C1

銀の雨音





美紅には
手を出すな!

やめろ閻!
殺りたきや
俺をやれ!!



何ゴチャゴチャ
ぬかしてやがる

ふたりとも
ブツ殺されたいか!

きやあつ



ゆっくりと
料理してやる

1発目だ!



.....



いい度胸だ
もちろん
殺ってやるさ

てめエのおかげで
俺の幹部出世も
何もかもバアだ!

覚悟しろよ

銃を捨てな!

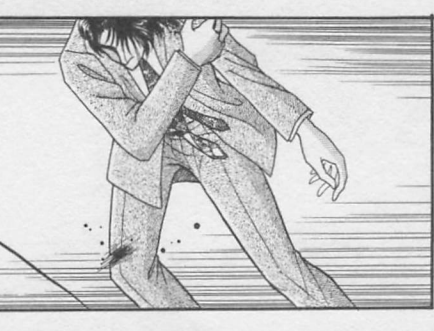


次は足を
いこうか

きゃああっ



いやああっ!



うるせエ
このアマ!

おとなしく
見てろ!!



まだまだ...

もう
やめてエ
死んじやう!
勇一さん!!

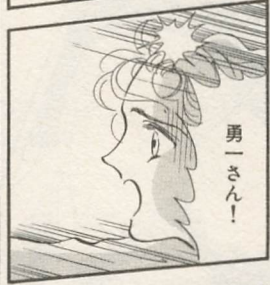




うわっ



地獄へ
落ちろ！



勇一さん！



くらっ！

よくも…



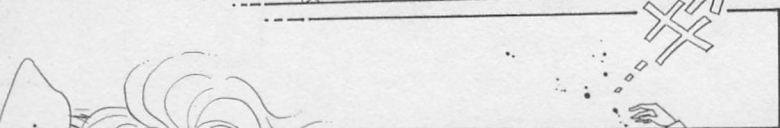
な...



死んでも
守る...!!



...美紅は
俺が...

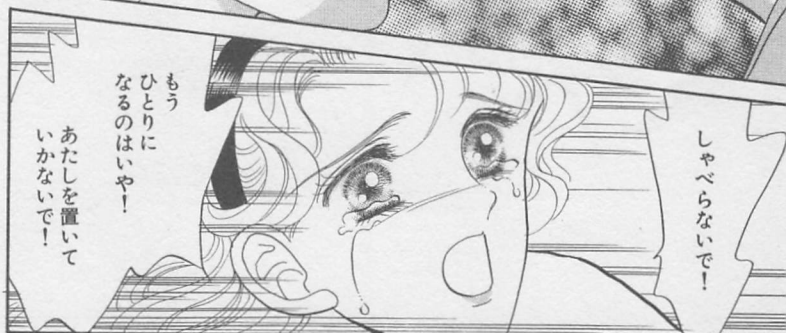




愛してる…

初めて会ったときから…

ずっと…



しゃべらないで!

もう
ひとりに
なるのはいや!

あたしを置いて
いかないで!



それほどの
ケガじゃないさ…

美紅を残して
死ねない…もんな

勇一さん…!



…そうよ
死んだりしたら
許さないから！

あたしを愛してるなら
一生そばにいて！

あたしを守って…！



…警察だ

俺は運も強い
…ってことだな

…ああ

約束するよ



〈銀の雨音〉*おわり*

1994年プチコミック3月号に掲載

ひとりごとコーナー PART 2

「毎日のエデン」を描くにあたり、コンビニエンスストアを数軒経営している友人R君に取材させてもらった。お客さんがいる時にもカメラを構って大胆にパシャパシャとやり、(しかも脚立に乗ってまで写した私)ちよと恥ずかしかったけど、迷惑がらずに快く取材をOKしてくれたS君と店員のみなさん、この場を借りてどうもありがとうございました♡コンビニはけっこう(おれ?)好きで、よく行く私だけれど、好みだったデザートとか、スタック菓子とかが、いつの間にか製造中止になってることが多くて、あの〇〇はXXはどこへ行ったの...?なんて、棚を見つめながら世の諸行無常を感じてるお客なんて、私だけだろうか.....

コンビニ大好き人間の私けれど、夜明けに朝日が当たって紫色から赤色に変わっていく富士山をボーッと眺めてたりすると、世の中こんなふうにどんどん便利になってきちゃって本当に大丈夫かしら...なんて考えちゃうよ、斜り変わりのスピードも加速してるでしょ。どこか軸がズレてきているんじゃないかって。山とか湖とか見ると鳥の声聴いてるとさそう思う。便利なことももちろんいいけど、大切な、あたりまえのことがちゃんと忘れずにいなくちゃ...よね。ま、こなわけ、今回も最後まで読んでくださって、本当にありがとうございます。この本を手に取ってくれたみなさまに心から感謝いたします。ご意見、ご感想、聞かせてくださいね。お便りは下記の宛先へ。ではまたお会いできる日まで、お元気で〇 byebye!

〒101-01

東京都千代田区一ツ橋2-3-1

小学館フタコミック編集部 気付

小林 博美



ニューヨーク ダスト

博美のロマンス♥BOX①

フラワーコミックス

1995年3月20日初版第1刷発行

(検印廃止)

著者

小林博美

©Hiromi Kobayashi 1995

発行者

千葉和治

印刷所

大日本印刷株式会社

PRINTED IN JAPAN

発行所

(101-01)東京都千代田区一ツ橋二の三の一

振替 00180-1-200

TEL 販売03(3230)5749 編集03(3230)5673

株式 小学館
会社

●造本にはじゅうぶん注意しておりますが、万一落丁・乱丁などの不良品がありましたら「業務部」あてにお送りください。送料小社負担にて、おとりかえいたします。業務部 TEL 0120-336-082
●本書の一部または全部を無断で複製、転載、上演、放送等を行うことは、法律で認められた場合を除き、著作者及び出版者の権利の侵害となります。あらかじめ小社あて許諾をお求めください。
☐本書の一部または全部を無断で複写（コピー）することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター（TEL 03-3401-2382）にご連絡ください。

ISBN4-09-136401-2

★小林博美のフラワーコミックス★



●小林博美傑作集 7

マルガリータをもう一杯

——紋章——

緋のエンブレム 全4巻

●小林博美傑作集

- | | |
|------------|------------|
| ①Call Me…! | ④レディー・A |
| ②オニキスに口づけを | ⑤ビタミンMOEKO |
| ③千の夜を紡いで | ⑥雪の夜に聴かせて |

FLOWER COMICS 大好評発売中!!